

# 海外のナショナル・アカデミーの会員選考方法について (各国アカデミー調査 (令和5年5月25日))

資料 1

アカデミー名	分野構成	終身/任期	会員数	会員選考方法	会員以外の者からの意見聴取
全米科学アカデミー	物理学・数学、生物学、工学・応用科学、生物医学、行動・社会科学、応用生物学・農学・環境学	終身	2,512 外国人会員517 名誉会員76	別紙 1 参照	規定なし
英国王立協会	コンピュータサイエンス、数学、天文学と物理学、化学、工学、地球と環境科学、生化学・分子細胞生物学、微生物学、免疫学及び発達生物学、解剖学、生理学及び神経科学、有機生物学、進化・生態学、健康と人間の科学	終身	1,531 外国人会員188 名誉会員11 その他 5	別紙 2 参照	会員の選考に当たって、会長が各大学のVice ChancellorやResearch Councilの議長及び最高責任者に対して候補者の推薦を奨励することができる。
ドイツ科学アカデミーレオポルディーナ	数学・自然科学・工学、ライフサイエンス、医学、人文科学・社会及び行動科学	終身	1,649(会員と外国人会員の区別なし) 名誉会員 1	別紙 3 参照	第一読会及び第三読会における候補者の検討に際し、幹事会メンバー又は幹事会は必要に応じて会員以外の専門家の助言を求めることができる旨の規定がある。
フランス科学アカデミー	数学、物理学、機械・情報科学、宇宙の科学、化学、分子・細胞・ゲノム生物学、統合生物学、人間生物学・医学 ※応用科学のインターセクションもあり	終身	276 外国人会員112 その他64	別紙 4 参照	規定なし
イタリアリンチェイ国立科学アカデミー	物理科学、数理科学、自然科学、倫理科学、歴史学、人文科学	80歳まで	会員90 通信会員90 外国人会員90	コ・オペレーション方式 ・アカデミーのセッションが始まる11月に部門の部長が欠員を補充するための提案を募る。 ・提案は部門の部長が取りまとめ、部の会員に通知。 ・会期後半に開催される部門の全体会議において、会員が3人組の形式で提案を取りまとめ、部門の承認を得るために提示する。 ・各カテゴリーが立案した最終提案は、部門によって承認された後、候補者の科学的資格の概略を示した上で、部門所属の国内会員の投票に付される。投票は、秘密投票・書面で行われ、本アカデミー会長に送付され、同会長が票を数える(過半数の票を得た者が当選)。	規定なし
カナダ王立協会	芸術・人文科学、社会科学、自然科学	フェロー終身 カレッジ・メンバー7年 機関会員毎年更新	フェロー2,558 カレッジ・メンバー401 機関会員63	別紙 5 参照	規定なし

アカデミー名	分野構成	終身/任期	会員数	会員選考方法	会員以外の者からの意見聴取
インド国立科学アカデミー	数理学、物理、化学、地球・環境科学、技術・工学、総合生物学、分子・細胞生物学、生体分子・構造生物学及び創薬、健康科学、農業科学	終身	フェロー1,007 外国人フェロー101	別紙6参照	分野別委員会で絞り込まれた候補者(最大10名)に対し、分野別委員会委員長はそれぞれ5名から10名の専門家を指名し、意見を聴取する。海外の専門家の場合は、INSA会員でなくても可(インド人専門家はINSA会員に限定)。
大韓民国学術院	人文・社会科学、自然科学	終身	133	コ・オブテーション方式 1. 会員任命計画の作成 2. 分科会において、選出される会員の数と、候補者を推薦する関連学術団体の名前を決定 3. 理事会で任命について審議・決定 4. 候補者の推薦の依頼・受付(会員、または大韓民国学術院が指定する関連分野の学術団体が候補者の推薦) 5. 分科会・選考委員会において資格審査と事前審査 6. 部会で最終候補者を決定 7. 総会で承認	規定なし
大韓民国科学技術アカデミー	政策学、自然科学、工学、農水産学、医薬学	終身	フェロー489 名誉フェロー448 若手メンバー124 外国人会員60 準会員27 名誉会員・後援会員10	コ・オブテーション方式 1. 候補者の推薦(3名もしくは4名以上のフェロー、または、関連団体の長、あるいは大学の学長からの推薦が必要) 2. 各分科会(政策学、自然科学、工学、農水産学、医薬学)による候補者の業績評価 3. メンバーシップ委員会による選出 4. 理事会の承認 5. 総会の承認	関連団体の長、大学の学長も候補者を推薦可能
中国科学院	数学・物理学、化学、生命科学・医学、地球科学、情報工学、技術科学	終身	中国人824 外国人128	・投票権を持つ全院士の投票により、2年ごとに選出。 ・院士及び関連学術団体が候補者を推薦する。80歳以上の院士及び外国人院士には、院士の推薦及び選考・投票権はない(2017年9月時点で80歳以上の院士は319名)。個人による応募は受け付けない。 ・常任幹部会が候補者を承認する。 ・各学問分野の常務委員会は、該当学問分野の選挙権を有する院士を組織し、候補者を評価し、選出する。 ・候補者のリストは、中国科学院党組に提出し、承認を得る。 ・常任幹部会は、最終候補を審査し、投票権を持つ院士による選挙を実施し、新たな院士を選出する。	「関連学術団体が候補者を推薦する」と規定されているが、詳細は不明。
ロシア科学アカデミー	自然科学、技術科学、医学、農学、社会科学、人文科学	終身	会員898 準会員1,144 外国人会員(人数不明)	・選挙は最低3年に1回開催。 ・候補者の推薦は、科学機関、政府の認証を受けた高等教育機関、アカデミーの科学会議。 ・アカデミーの部門内のセクションで選ばれ、部門の承認を受けたものの中から総会によって選ばれる。 ・総会選挙における当選は、総会における投票参加者の2/3以上かつ総会の半数以上の票獲得。	規定なし

# 全米科学アカデミー

## 1. セクション別候補者の推薦

### ■ 候補者の推薦

- ・ 現会員による推薦

推薦書の内容：

- ① 被推薦者の研究成果（250 ワード以内）
- ② 著作リスト（12 本以内）
- ③ 被推薦者の主たる研究成果を示す書誌情報（50 ワード以内）

推薦先（5 種類）：

- ・ セクション（単独/複数）
- ・ 臨時推薦グループ・任意推薦グループ
- ・ 評議会

### ■ セクション別に候補者の検討（適切な時期）

- ・ メンバーに対し、全ての推薦を共有。
- ・ 候補者として推薦すべき人物について照会。
- ・ 最も支持されている候補者の特定、資格精査。

※各セクションでの「検討手順（最大の支持を得ている候補者の同定、その経歴・資質情報の検討）」は、内部投票による過半数の承認を通じ設定可能。

### ■ 予備投票「セクション別に最も支持されている候補者を特定」（～9/6）

### ■ 非公式投票（セクション別）（10/18 頃）

40%以上得票 = 「公式投票候補者」

※投票方法：各会員は、指名を承認する候補者名にマーク（記名投票）。

### ■ 公式投票（セクション別）（11/28 頃）

2/3得票 = 「候補者」宣言

※40%以上3分の2未満の場合、「候補者ステータス」が継続。

### ■ 各セクションは公式投票で投票された全候補者名と投票数を Home Secretaryに証明（各議長）（12/8 より前）

## 2. 部門会員資格委員会 – 部門別に優先順位リストを作成

※委員会構成：

- ① セクション議長（または議長指名代理）
- ② 一般委員（定数 = セクション数、各セクション1～2名）
- ③ 追加委員（3名以内）

### ■ 部門会員資格委員会を招集（～3/1）

- ・ 議長・書記は投票権なし。
- ・ 必要な場合は候補者の部門の調整（他の部門への移動）。
- ・ 割当の150%まで候補者が入力されるリストを作成し投票を行う。

### ■ 投票→部門別「優先順位リスト」作成

※投票方法：各候補者の業績書面、各部門等投票記録が提供される。リストの2/3以下または1/3以上の範囲で投票（マーク）。

※リストに掲載されない部門「候補者」は翌年、候補者に戻る。

## 3. 全会員による投票 – 部門の定員数内で決定

### ■ 最終候補者リストの作成（年次総会ビジネスセッションの2～3週間前）

- ・ 年次総会ビジネスセッション3週間前に受領した電子投票用紙又は投票用紙、若しくは3週間前の消印で2週間前に受領した投票用紙を集計→2種類の最終候補者リストを作成。

● リスト I：優先順位投票での「得票数順」に、「各部門の割当数内」の候補者

● リスト II：「得票数順」に「残りの候補者」

### ■ 最終投票（年次総会で現会員による投票）

※最終リストは総会の場で提示。リスト I に投票、全会員の2/3が承認することにより選出。リスト I が承認されない場合、得票数順に選出。

※同数の場合は出席者の多数決。

# 英国王立協会

## 1. 候補者の推薦（9月30日まで）

- ・会員2名（提案者・推薦者）による推薦が必要。
- ※会員の推薦証明書には、提案・推薦理由、氏名、肩書、職業、資格、国籍、出生日、常居地を記載（推薦者の個人的な署名を付す。）

推薦要件：数学、工学、医学を含む自然科学の発達に貢献大の者  
被推薦人数は無制限

- ・候補者の登録は、郵送又はオンラインによる。
- ・提案者が被推薦者へ推薦の旨を通知。

## 2. 全候補者リストの準備（11月）

- ・リストへの掲載者は、10月1日以前に提案された者。
- ・リストには、候補者名、各候補者の提案・推薦者名を記載。
- ・全候補者リストの現会員への公開。

## 3. 会員候補者のショートリスト作成（3月上旬）

評議会（Council）が8以上の部門別委員会（最低12名で構成）を任命する。

【部門別委員会の構成】

- ・ Natural Knowledge各分野の下位分野の代表を確保するよう任命。
- ・ Standing Orders上の各委員会の主題は以下のとおり。  
部門別委員会0：コンピュータサイエンス  
部門別委員会1：数学  
部門別委員会2：天文学と物理学  
部門別委員会3：化学  
部門別委員会4：工学  
部門別委員会5：地球と環境科学  
部門別委員会6：生化学・分子細胞生物学  
部門別委員会7：微生物学、免疫学及び発達生物学  
部門別委員会8：解剖学、生理学及び神経科学

部門別委員会9：有機生物学、進化・生態学

部門別委員会10：健康と人間の科学

各部門別委員会は自部門の候補者を選考の上で投票によりショートリストを作成し理事会に提出。

【選考で参照される情報】

詳細な履歴書、研究成果の詳細、すべての科学出版物のリスト、最高の科学論文20篇。

※会員はその科学的業績のみに基づいて選考される。

## 4. 評議会による最終候補者の選出（4月）

- ・評議会が、候補者ショートリストから最大73名を選出（選出基準は定款にない）、会員に提示する最終リスト案を作成。その後、評議会最終リスト案に対する投票が行われ、最終リストを確定。
- ・最大73名のうち、最大21名はPhysical Sciencesの候補者、同21名はBiological Sciencesの候補者、同20名はApplied Sciences, Human Sciences and Joint Physical and Biological Sciencesの候補者、同3名はHonorary Fellowshipの候補者に割当。

## 5. 会員による秘密投票（5月）

- ・出席し、投票する会員の2/3の得票で候補者が選出

## 6. 新会員の正式承認（7月）

## 7. 新会員の着任（11月1日）

# ドイツ科学アカデミーレオポルディーナ

## 1. 会員による推薦プロセス

推薦要件：卓越した学術実績があること。

推薦書の要件：CV・推薦文・直近の出版物（5～10件）概要を添付。

### ① セクション経由の推薦

最低3名の会員（full memberかcorresponding member）の署名で、第一読会に候補者を推薦可能（うち2名は候補者が入る予定のセクション所属であること）。

### ② Member Selection Committee（以下、MSC）経由の推薦

- ・構成員は、Presidium の任命による各クラスの代表と各セクションの代表（他の会員をアドバイザーとして招待可）。
  - ・セクションごとには評価しにくい分野横断的な領域からの候補者を見つけるための措置。
  - ・会員はMSCに分野横断的なテーマの設定とそれに相応しい候補者の同定を要請。
  - ・MSCは最低3名の会員の支持のある候補者を挙げ、委員の過半数の支持があれば幹部会に推薦。
  - ・MSCからの候補者からは年間で最大5名まで会員選出が可。
- ※選挙の定員－幹部会は評議会との相談の上で、クラスごとの正会員数（75歳以下）を決定。

## 2. 会員による選挙プロセス

### ■ 第一読会

<Qualitative evaluationと5段階評価を行う>

Qualitative evaluation：  
Scientific excellenceが要件

### 5段階評価：

- ・セクションの全会員に「候補者リスト」と「CV・推薦文・直近の出版物（5～10件）概要」が配布され、候補者を5点評価（最上位5点/上位4点/普通3点/下位2点/最下位1点/Rejection）し理由を付記（棄権は不可）。
- ・セクション内の会員の2/3以上の投票があった場合のみ、投票（結果）が有効。

### ■ 第二読会

<各クラス会合で第一読会の結果を議論し優先順位付け>

- ・構成員：クラスの代表が議長、該当するセクションの代表と代理。
- ・全てのセクションからの候補者を議論し、クラス割り当て数内で優先順位付け。

審議での要件：

- ① reputation and scientific visibility（受賞歴など）
- ② 積極的なアカデミー活動実績の有無
- ③（外国人の場合）ドイツとの親近性
- ④ 現状のアカデミーが非力な分野の候補者
  - ・4段階投票：各セクション代表に1票が与えられ投票（支持/条件付き支持/保留/不支持）し、クラスからの候補者を決定。

### ■ 第三読会

<幹部会でクラス毎に選挙特別会合を開き、そのクラスの候補者を議論、投票。MSCも同様に選挙特別会合を開き、推薦候補者を議論、投票>

- ・クラスから推薦された全ての候補者について議論（審議での要件について定款の規定なし）。必要に応じて専門家の意見（expert advice）を求める。その後、候補者ごとに、賛成、反対、保留を秘密投票。
- ・投票有権者は、①幹部会メンバー、②該当するクラスの代表、③該当するセクションの代表（又はMSCの代表2名）。
- ・幹部会メンバーの6名以上の支持と有効投票数の2/3を得れば当選。

# フランス科学アカデミー

- ・コ・オペレーションによることが法律に明記されている（研究のための2006年4月18日のNo.2006-450プログラム法第35条）。手続きは会則による。
1. 年の初めに、アカデミーは、ビューローの提案に基づき、秘密会において、会員選挙のセッションを開くかどうかを決定。
    - ※ビューロー：会長、副会長、永続書記（2名）。
  2. その後、選挙委員会の提案に基づき、選出する総数とセクションごとの割り当てを決定（半数はその年の1月1日時点で55歳未満の候補者に割り当てる）。
    - ※選挙委員会：ビューロー、管理委員会に選ばれた2名、国際委員会の代表、セクションの代表。
    - ・自分で立候補はできず、立候補はアカデミーの会員からの推薦のみ。
  3. 「選挙委員会」がそれぞれのポストの候補者の最終的なリストを決定し、それを「順列委員会」（une commission de mise en lignes）に割り当てる。
    - ※順列委員会：セクションごとに設置。セクションに属する全会員と他のセクションに属してランダムに選ばれた会員（委員会全体の1/4を超えない数）で構成。
    - ・各候補者は、「プレゼンター」（présentateur）と「報告者」（rapporteur）によって、「順列委員会」に提示される。
  4. 審議後、各「順列委員会」は、投票で過半数を獲得した人物を「第一列」に登録し、その後「第二列」に登録する候補者を識別するために新たに投票を行う。
  5. 委員会の提案が「秘密会」（総会）に提示され、選挙が行われる。各ポストについて、投票の絶対多数を獲得した者がメンバーに選ばれる。
    - ※選挙は非公表。
    - ※2019年の選挙では18名が選出（12月19日、2020年4月16日に大統領令で承認）、加えて2020年に4名選出（3月18日、5月18日に大統領令で承認）。
    - ※2022年の選挙では18名が選出（12月19日、2023年1月23日に大統領令で承認）。

# カナダ王立協会

## フェロー（コ・オブテーション方式）

- ・フェロー及び機関会員が候補者を推薦する。候補者の専門分野ごとに推薦される。
- ・各アカデミーの下に設置される10の部門（人文学（英語、仏語）、芸術、社会科学（英語、仏語）、応用化学・工学、地球・海洋・大気科学、バイオサイエンス、メディカルサイエンス、数理・物理化学）ごとの選考委員会において審査。
- ・部門別選考委員会より推薦された候補者は、アカデミー別選考委員会に送付される。アカデミー別選考委員会によって候補者リストが作成される。候補者リストは、理事会にも送付される。
- ・候補者リストの各候補者について、対応する各部門のフェロー全員による投票が行われる。75%の賛成票を得ると、フェローとして立候補するよう候補者に通知される。

## （日程）

- ～12月 事務局へ推薦書の提出
- 1～4月 部門別・アカデミー別選考委員会による審査
- 5～6月 各部門のフェローによる候補者への投票
- 7月 選出された候補者へ通知
- 9月 選出された候補者の公表
- 11月 正式に会員として就任

## カレッジ・メンバー（コ・オブテーション方式）

- ・フェロー、カレッジ・メンバー及び機関会員が候補者を推薦する。
- ・カレッジの会長・幹事、その他、必要なフェロー及びカレッジ・メンバーによって構成される、カレッジ選考委員会によって審査される。
- ・カレッジ選考委員会は候補者リストを取りまとめ、RSC評議会が批准する。
- ・候補者に通知し、同意を得る。毎年11月の年次総会において正式にカレッジ・メンバーとなる。

## 機関会員

- ・評議会による承認。

# インド国立科学アカデミー

## フェロー選出規則

### ①候補者の募集（毎年6月）

### ②候補者の推薦（7月15日まで）

- ・2名の会員による推薦が必要。うち少なくとも1名は、候補者の科学的業績に関し、個人的な知見に基づくものとする。
- ・推薦状には候補者の学歴・専門的業績、業績概要及び候補者の最も重要な研究成果に対する批判的分析を提出。加えて、候補者の代表的な出版物（最大10点）、重要論文（最大5本）及びその概要（50語）のリストを提出する。
- ・推薦者は、候補者を推薦する別の1名の会員に推薦書類を直接送付し、両会員が署名し、候補者の適性について見解を表明する推薦書を7月15日までに事務局長に提出する。

### ③候補者のリスト

- ・年次総会（the Anniversary General Meeting）における理事会で、全候補者リストが作成され、各分野別委員会に意見と共に送付される。

### ④候補者の登録（1月31日まで）

- ・最も重要な研究業績の概要、10本の代表的な論文、推薦人の名前、推薦が初めて検討された年及び各候補者の誕生年が記された候補者リスト（アルファベット順）が、HP上に掲載され、各会員に通知される。
- ・会員は候補者の適性等について、所見やコメントを作成し、関係する分野別委員会の委員長に提示することができる。
- ・委員長は1月31日までに当該分野を専門とする会員に、候補者の科学的業績に関する追加情報の提出を依頼する。

### ⑤分野別委員会による選出（2月～5月）

- ・事務局長は、1月31日までに各分野の候補者リストを、研究活動を示す記述とともに分野別委員会メンバーに配布する。その際、分野別委員会会合の少なくとも2週間前までに、各分野別委員会の委員長に対し、理由とともに推薦状を提出するようメンバーに要請する。

- ・分野別委員会の会合は、2月／3月に1回、4月／5月に1回の計2回開催される。
- ・第1会合で、分野別委員会委員長は、候補者を最大10名に絞り込む。その後、選抜された10名のそれぞれについて、5～10名の専門家（海外の専門家数名を含む、インド人専門家はINSA会員に限る）を指名し、候補者に関する情報を得る。10名の候補者名は、理事会に報告される。
- ・第2回会合では、専門家による意見が検討され、最大7名の最終候補者を決定する。その後、各分野別委員会委員長は副会長（会員選考担当）に報告する。

### ⑥理事会による選考

- ・各分野別委員会の第2回会合後、各委員会が作成した推薦書を検討し、全体で50名を超えない候補者を選考する。

### ⑦投票用紙の配布

- ・理事会による選考直後に、候補者リストを含む電子投票用紙が全会員に送信される。

### ⑧電子投票

- ・各会員が候補者の名前にチェックを入れる。
- ・会長に指名された2人の監視員が投票書類を集計し、投票数を会長に報告する。
- ・会長は、年次総会の前に開催される理事会会合で、新たに選出された会員の名前を正式に公表する。投票結果はHPに掲載される。選挙の効力は翌年1月1日から発効。

※選出資格：インド国民またはインド市民権取得者、非居住インド国民（外国に住んでいるインド国籍保持者）、及び少なくとも10年間インドで勤務している外国人研究者

※指名の有効性：5年間（指名者が選挙直前の7月15日までに取り下げない限り）